

令和5年度特別展

関東の30年戦争

「享徳の乱」と千葉氏

—宗家の交代・本拠の変遷—

そして戦国の世の胎動—



入館料
無料

開催期間 令和6年1月16日(火)～3月3日(日)



千葉市立郷土博物館

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで) / 休館日 月曜(祝日の場合は翌平日)

〒260-0856 千葉市中央区亥鼻 1-6-1 / Tel.222-8231 Fax.225-7106 / メールアドレス:kyodo.EDL@city.chiba.lg.jp

交通案内 ● JR 千葉駅下車 東口バスのりば⑦から、千葉大学病院行または南矢作行(千03、千03-1、千04)で「郷土博物館・千葉県文化会館」下車、徒歩3分 ● 千葉モノレール県庁前駅下車、徒歩13分 ● JR 本千葉駅下車、徒歩15分 ● 京成千葉中央駅下車、徒歩20分

URL <https://www.city.chiba.jp/kyodo/index.html>



享徳の乱は千葉氏にどのような影響を与えたか

15世紀なかば、東国でおきた享徳の乱は、鎌倉公方足利成氏と関東管領上杉氏、そして上杉氏を支援した室町幕府の間で、あしかけ29年におよぶ長い戦いになりました。この間、享徳4年(1455)3月、成氏方の原胤房らは、上杉方の千葉宗家の胤直を千葉に襲い、胤直らは千田荘多古へ逃れました。そして同年8月、胤直・宣胤父子、円城寺氏一族を庶家の馬加康胤とともに多古・島で攻め滅ぼします。康胤は宗家を継ぎますが、幕府の命をうけて下向した美濃東氏の常縁に討たれ、岩橋輔胤・孝胤の系統へと宗家は移りました。この孝胤の頃、本佐倉城(酒々井町・佐倉市)を本拠としました。水陸交通要衝の地へ移った千葉氏は新たな発展をみせていきます。

戦国時代初期の千葉氏の宗家の交代・本拠の移転は、従来考えられてきた同氏の衰退を招いたのではなく、千葉氏が時代の変化に適応していったという積極的な意味があったことを、関東戦国史という大きな枠組みをとおして紹介します。

(表) 青羅紗包仏胴二枚具足(当館蔵)・東野州聞書(当館蔵)・島城跡遠景



観音経寺宝塔棟札(複製:当館蔵)



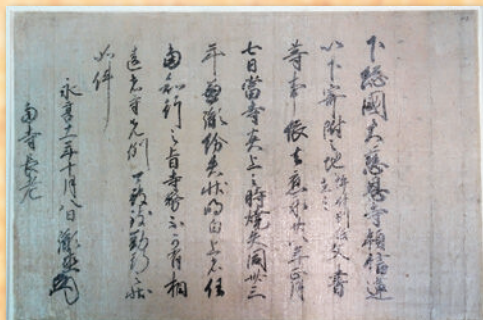
足利成氏御内書(個人蔵)



里見義実坐像(杖珠院蔵)



等覚寺薬師如来坐像(等覚寺蔵)



千葉胤直安堵状(大慈恩寺蔵)



馬加城跡出土資料
(千葉市埋蔵文化財調査センター蔵)



高品城跡出土常滑焼大甕(当館蔵)



東常縁画像(写真:乗性寺蔵)



中曽根城跡出土板碑
(複製:足立区教育委員会蔵)

歴史講座 関東の30年戦争「享徳の乱」と千葉氏の動向

戦国時代初期の千葉氏について、関東戦国時代のきっかけとなった享徳の乱を通して紹介します。(要予約)

日時: 1月20日(土) 14:00~15:30

会場: 千葉経済大学2号館大講義室(2-101教室)

演題及び講師

演題: 享徳の乱一軍記物語と史実を考えるー 講師: 長塚孝氏(馬の博物館 前学芸部長)

演題: 享徳康正の変と千葉氏宗家の交代 講師: 遠山成一氏(千葉経済大学講師)

募集人数: 200人(応募多数の場合は抽選)

募集期間: 12月24日(日)~1月7日(金)、電子申請が往復はがきで申し込み。

